

## 【 国立市 】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	14,741	16,816	31,557
【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.4%】			
実際の受診者数	326	370	696

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.4%	5.6%	5.5%
要精検率	11%以下	11.3%	6.5%	8.8%
精検受診率	70%以上	91.9%	100.0%	95.1%
精検未把握率	10%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検未受診率	20%以下	8.1%	0.0%	4.9%
陽性反応適中度	1.0%以上	2.7%	4.2%	3.3%
がん発見率	0.11%以上	0.31%	0.27%	0.29%

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	胃部X線（35～39歳）
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

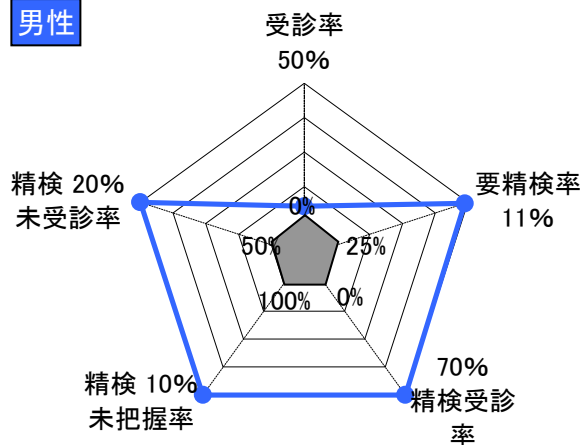
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

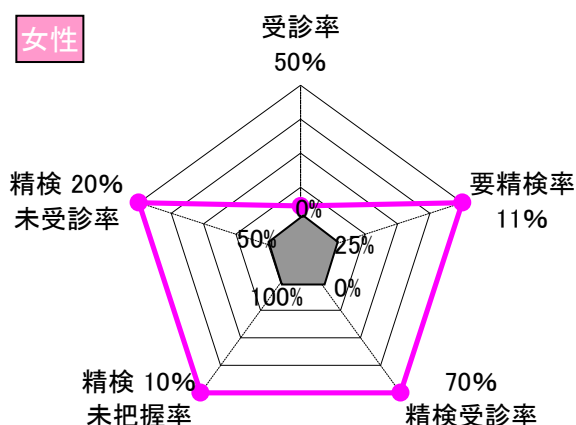
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 男性



### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## 【 国立市 】 肺がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	20,804	22,938	43,742
【東京都調査による対象者率(市町村部)：63.5%】			
実際の受診者数	466	533	999

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.5%	3.7%	3.6%
要精検率	3%以下	1.9%	1.5%	1.7%
精検受診率	70%以上	100.0%	100.0%	100.0%
精検未把握率	10%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	22.2%	0.0%	11.8%
がん発見率	0.03%以上	0.43%	0.00%	0.20%

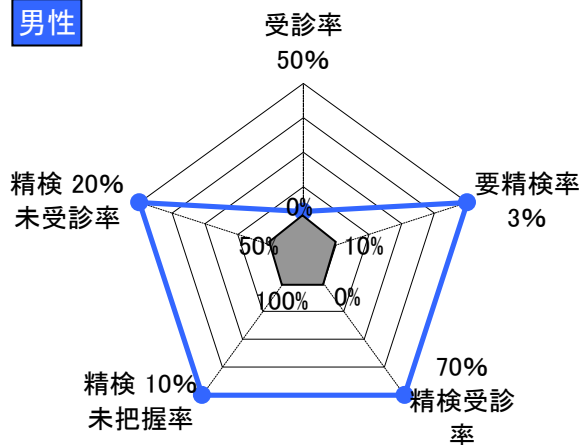
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

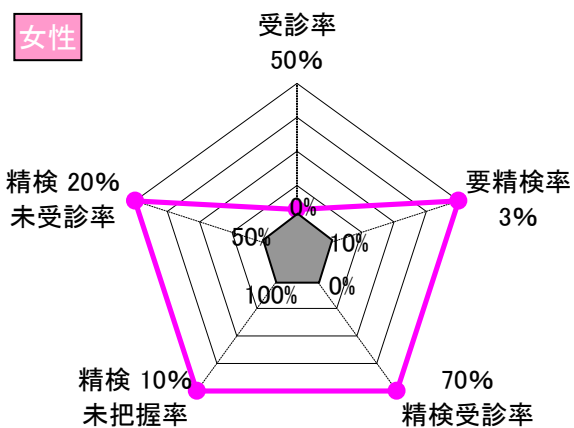
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## 【 国立市 】 大腸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	20,804	22,938	43,742
【東京都調査による対象者率（市町村部）：59.6%】			
実際の受診者数	557	937	1,494

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.5%	6.9%	5.7%
要精検率	7%以下	8.1%	8.4%	8.3%
精検受診率	70%以上	91.1%	91.1%	91.1%
精検未把握率	10%以下	4.4%	5.1%	4.8%
精検未受診率	20%以下	4.4%	3.8%	4.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	8.9%	2.5%	4.8%
がん発見率	0.13%以上	0.72%	0.21%	0.40%

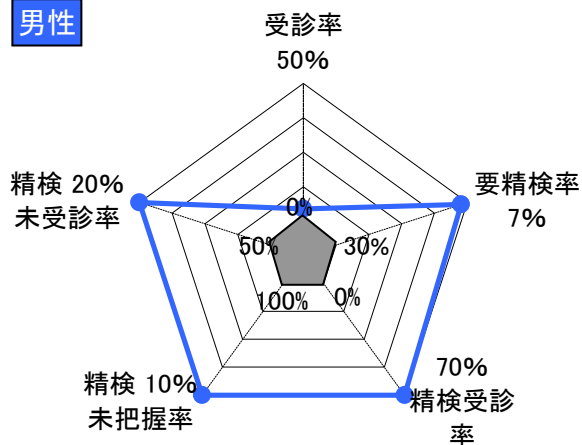
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

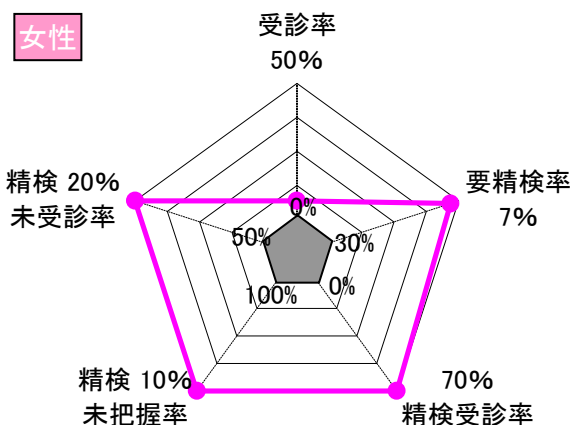
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## 【 国立市 】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		32,235	
【東京都調査による対象者率(市町村部)：60.4%】			
実際の受診者数		1,486	

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		16.1%	
要精検率	1.4%以下		2.3%	
精検受診率	70%以上		94.1%	
精検未把握率	10%以下		5.9%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		2.9%	
がん発見率	0.05%以上		0.07%	

#### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

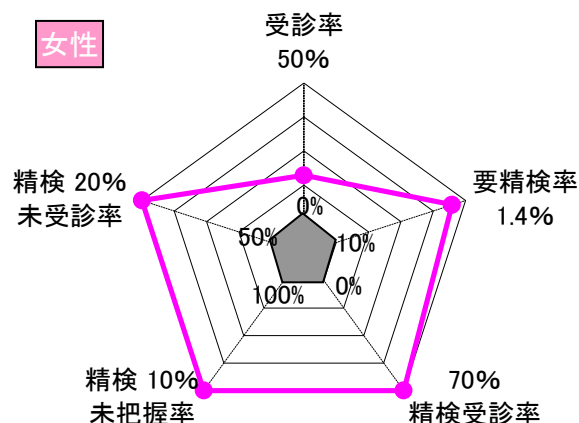
#### 【評価結果】

##### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

##### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。



## 【 国立市 】 乳がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		22,938	
【東京都調査による対象者率(市町村部)：63.9%】			
実際の受診者数		948	

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		12.3%	
要精検率	11%以下		13.0%	
精検受診率	80%以上		93.5%	
精検未把握率	10%以下		5.7%	
精検未受診率	10%以下		0.8%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.9%	
がん発見率	0.23%以上		0.63%	

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

